

# ひょうごの土地改良

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2020



水土里ネット兵庫会長賞  
「蓮のお花の蓮根畑」

	目 次	頁
挨拶	水土里ネット兵庫 会長職務代理者 副会長 井上 英俊 新年を迎えて .....	2
挨拶	兵庫県知事 井戸 敏三 危機を乗り越え、ポストコロナの新時代に挑む .....	3
挨拶	衆議院議員 西村 康稔（水土里ネット兵庫 会長休職中） 新春を迎えて .....	4
挨拶	全国水土里ネット 会長会議顧問 参議院議員 進藤 金日子 新年のご挨拶 .....	5
挨拶	全国水土里ネット 会長会議顧問 参議院議員 宮崎 雅夫 新年ご挨拶 .....	6
農業農村整備の集い	—農を守り、地方を創る予算の確保に向けて— .....	7
令和3年度農業農村整備事業関係予算概算決定の概要、ひょうご水土里ネット女性の会...	8	
令和2年度換地委員等実務研修会開催、土地改良換地士試験合格者発表 .....	9	
令和2年度土地改良区役職員研修会（技術実践向上研修） .....	10	
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2020 .....	11	
ため池を巡るロゲイニング、主な会務の状況 .....	12	

## 新 年 を 迎 え て



水土里ネット兵庫（兵庫県土地改良事業団体連合会）  
会長職務代理者（副会長） 井 上 英 俊

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎える、謹んで御挨拶を申し上げます。

会員並びに関係の皆様方には、日頃より当会の運営並びに農業農村整備の推進に、大変なご支援とご協力を頂いておりますこと、心より感謝と敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスの厳しい感染状況が続いている中ではありますが、我が国の農業農村は、高齢化の進展や農業者の減少など、取り巻く情勢は厳しいものがあり、体质強化が急務であることは言うまでもありません。

農業農村整備については、農地の大区画化・汎用化や水路のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の長寿命化や豪雨・耐震化対策を推進するとともに、ＩＣＴを用いた水管理省力化技術の導入等、農業農村インフラの持続性・強靭性の強化を進めながら、人口減少下で展開する農業、多様な主体が住み続けられる農村の構築を推進していく必要があります。

一昨年4月施行の改正土地改良法や昨年10月施行の防災重点農業ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法等の法令措置を踏まえ、土地改良区の組織運営やため池の管理体制をより一層強化することが求められており、土地改良施設の安全管理対策、維持管理や補修更新を適切に行っていく必要があります。本会としましても行政と緊密な連携のもと、昨年9月に設立された「ひょうご水土里ネット女性の会」の新たな視点も取り入れながら、市町、土地改良区、ため池管理者の方々に対し、組織体制の充実を図り精一杯支援してまいります。

西村康稔会長におかれましては、昨年9月に経済再生、ＴＰＰ、新型コロナウイルス感染症対策担当、全世代型社会保障改革担当大臣に再任され、感染拡大の防止と経済社会活動の両立に取り組まれ、また、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問におかれましては、農業用ため池の防災対策の推進に取り組まれる等、国政で活躍されており、兵庫にとって大変心強い限りです。

令和3年の新春を迎え、西村大臣、進藤参議院議員、宮崎参議院議員の益々のご活躍をご期待申し上げるとともに、役職員一丸となって、会員の皆様のご支援に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本県農業農村の発展と、会員並びに関係の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 危機を乗り越え、ポストコロナの新時代に挑む

兵庫県知事

井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスとの戦いの年でした。しかし、未だ終息にはほど遠い状況です。

一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生やデジタル化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する活力あふれる兵庫をめざします。令和3年は本格的に歩みを進める年とします。

第1は、新型コロナ対策の充実。自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取組が何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることにつながります。是非、ご協力をお願いします。

第2は、兵庫の元気回復。経済の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサプライチェーンの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークにより東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。“都市部から地方へ”的潮流を捉え、兵庫への呼び込みを図ります。

第3は、安全安心の基盤強化。コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。県民が安心して暮らせる福祉の充実も強化します。

第4は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。「2030年の展望」を具体化する取組を進めるとともに、2050年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討を加速させます。

我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度もの危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代とともに築き上げるため、挑戦していくではありませんか。

コロナ禍を 乗り越えていく 県民の ひたむきな歩み 夢をめざして

## 新 春 を 迎 え て



衆議院議員

経済再生担当大臣

新型コロナウイルス感染症対策担当大臣

全世代型社会保障改革担当大臣

TPP担当大臣

西 村 康 稔

(水土里ネット兵庫会長休職中)

新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様方には、何かとご高配を賜り、農業農村整備事業の推進に大変なご貢献を頂いていること、心から感謝申し上げます。

私は、昨年9月の菅内閣発足に伴い、経済再生、TPP、新型コロナウイルス感染症対策担当、全世代型社会保障改革担当大臣に再任されました。感染拡大の防止と経済社会活動の両立という我が国の最重要課題を引き続き担当することになりました。新たな日常に向か全力で取り組んでまいります。

農業農村整備については、農業機械の大型化・自動化や遠方監視・自動制御システムの導入などICT(Information and Communication Technology 情報通信技術)を活用した未来の農業を切り拓く取り組みを応援するとともに、そういったチャレンジを支える土地改良などの生産基盤を強化し、美しく伝統ある農山漁村を次世代に継承していく強い農林水産業、活力ある農山漁村の構築にしっかりと取り組んでまいります。

また、RCEP署名を踏まえて私が担当しているTPP大綱を改訂し、その大綱を実現するため、三次補正予算案において農林水産物・食品の輸出促進、国内農業の競争力強化など総額3,359億円を計上しております。

こうした中、令和3年度土地改良予算に関しては、大きく削減された予算の復活に向けて、全国水土里ネット会長の二階自民党幹事長と連携し、しっかりと取り組んでまいりました。その結果、前年度を上回る5,600億円を確保する見込みとなりました。

さて、一昨年4月には改正土地改良法が、昨年10月には、ため池工事特措法が施行され、土地改良区や農業用ため池の管理主体が地域に果たす役割は益々重要なものになってきています。それらの体制強化に万全を期していかなければなりません。

新型コロナウイルスについては、厳しい感染状況が続いており、何としても現在の感染拡大を抑え、命とくらしを守るため、全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導、ご支援をお願い申し上げます。

大臣規範により、兵庫県土地改良事業団体連合会長の職は休職が継続しますが、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員と共に、会員の皆様方の声を国政に反映するよう努めてまいります。よろしくお願ひします。

いずれにしましても、兵庫県の農業農村の発展のために土地改良の果たすべき役割は大きなものがあります。新年を迎え、会員の皆様と共に心一つにしっかりと頑張ってまいりたいと思っております。

結びに、令和3年が皆様方にとって夢とチャンスが満ち溢れた実り多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 進 藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。兵庫県の皆様には、昨年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靭化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靭化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

昨年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟（二階俊博会長）として「農業農村の振興を先導する土地改良」（全国事例集）が発刊できること、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

兵庫県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 新年 ご挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 宮崎雅夫

明けましておめでとうございます。兵庫県の土地改良関係の皆さんに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただきおりまことに敬意を表しますとともに、私の国政活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年は全国的に新型コロナウィルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われ、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げ、速やかな復旧に向け私も最大限の努力をしてまいる所存です。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受け 11 月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆さま方のご关心も高い、防災・減災、国土強靭化対策については、現行の 3 カ年緊急対策に続き令和 7 年度までの 5 カ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靭化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池、農業水利施設等の老朽化対策や予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力を賜りながら総額 6,300 億円（当初 4,445 億円、補正：国土強靭化加速化対策 1,155 億円、TPP 対策 700 億円）を確保することができました。1 月開会の通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せ生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と必要な予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、兵庫県の皆さまのご健勝とご多幸を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ新年の挨拶といたします。

## 農業農村整備の集い 一農を守り、地方を創る予算の確保に向けて一

令和2年11月20日、コロナ禍の中、砂防会館別館シェーンバッハ・サボーで「農業農村整備の集い」（主催：全国水土里ネット、都道府県水土里ネット）が開催され、国会議員を含め400名の土地改良関係者が全国から参集しました。

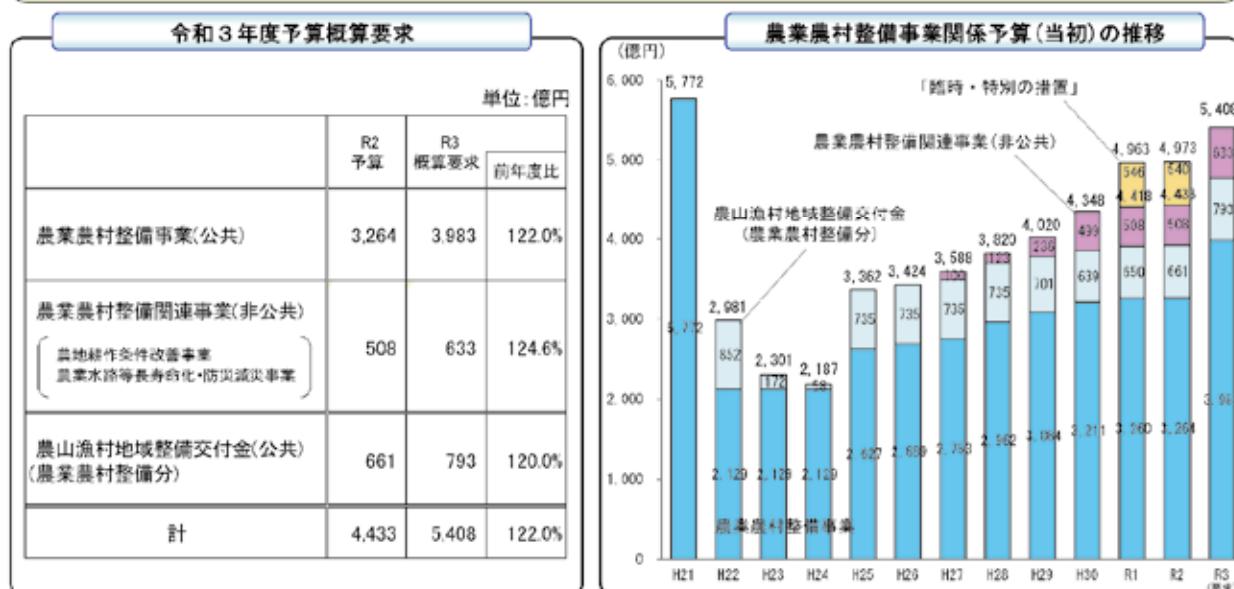
二階俊博全土連会長は、「令和2年7月豪雨や台風による暴風雨により被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要である。全力で対応していく所存である。昨年、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立したことはご承知のとおりである。進藤、宮崎両参議院議員のめざましい活躍があった。土地改良は現状のままで満足せず、更なる前進、高みを目指していくためには「闘う決意」が必要である。」と強調され、主催者として挨拶されました。

閉会後、要請実現に向け、本連合会参加者は政府、兵庫県選出の衆参両議院議員へ強力な要請活動を行いました。



## 令和3年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要

- 農業農村整備事業の令和3年度概算要求については、農業の競争力強化や農村地域の国土強靭化を図るとともに、田園回帰や農村定住を促進するため、対前年度比122.0%の3,983億円を要求。
- 農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）及び農業農村整備関連事業（非公共）と合わせて、対前年度比122.0%の5,408億円を要求。



### 「ひょうご水土里ネット女性の会」設立総会開催

令和2年9月29日、兵庫県内の水土里ネットの業務に携わる女性職員を中心とした「ひょうご水土里ネット女性の会」が設立されました。「女性の活躍の場を広げ、女性の視点や行動力を最大限に發揮し、水土里ネットの運営基盤の強化や活性化に寄与して参ります。」と会員一同語っています。



## 令和 2 年度 換地委員等実務研修会

換地業務を実施中又は予定の地元役員・換地委員・土地改良区・市町・県職員を対象とした換地委員等実務研修会を 5 会場で開催しました。参加者は神戸会場(7/22)8名、光都会場(7/27)30名、朝来会場(8/7)86名、洲本会場(12/25)19名の計 143 名でした。

研修内容は、1 時限目は兵庫県農地整備課基盤整備班 土居班長、近木主幹による「換地業務の全体の流れ」、2 時限目は「一時利用地の指定、税制等」、3 時限目を水土里ネット兵庫事業部地籍換地課植田課長補佐による「土地の評価と清算の例等」の研修を行いました。

この換地実務研修では専門的な用語や手続きが多く、理解し難いとの意見もあることから、研修では、より分かりやすい資料や事例を交えた説明に留意しました。

受講者も地区の進捗状況において、初めての受講、関心のある箇所に重点をおいての受講、あるいは毎年受講されている人もおり、様々な形でこの研修を利用していくことにより、換地事務の適切な処理や促進に役立てて下さい。

光都会場



朝来会場



## 令和 2 年度土地改良換地士資格試験合格者の発表

令和 2 年 12 月 15 日に土地改良換地士合格者が発表され、兵庫県からは 2 名の方々が見事に合格されました。田中さんは 1 月 22 日に、的場さんは 1 月 25 日に各事務所にて合格証書が授与され、農地整備課長に報告されました。誠におめでとうございます。

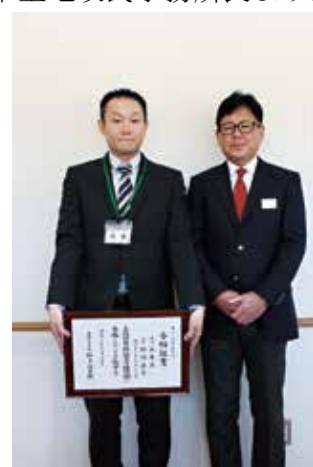
兵庫県土地改良事業団体連合会 常務理事より授与

洲本土地改良事務所長より授与



兵庫県土地改良事業団体連合会

【田中宏基】



淡路市役所

【的場進介】

## 令和2年度 土地改良区役職員研修会（技術実践向上研修）

令和2年11月27日（豊岡）、30日（神戸）、12月2日（三木）、4日（洲本）、7日（姫路）に、土地改良区役職員研修会を開催しました。

この研修会は土地改良区体制強化事業の一環として土地改良区の役職員等を対象とした研修会で、5回の開催で326名の参加がありました。

研修の目的は、改正土地改良法や防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法の施行を踏まえ、土地改良区の役職員等に対し組織運営、土地改良施設の維持管理、農業農村整備に関する基礎的、専門的知識に関する研修を行い、習得を図ることにより、技術力向上に資するとともに土地改良区業務運営の適正化を図ることを目的とするものです。

今回の講師は、近畿農政局土地改良管理課楠本和也課長補佐、赤井幹治土地改良指導官、兵庫県農村環境室伊藤倫之ため池水利班長、当会栗林茂樹参事、兵庫県農地整備課土居憲明基盤整備班長、福永陽介主幹、兵庫みどり公社農地活性化部藤本英樹専門員の方々に努めていただきました。

近畿農政局 土地改良管理課	土地改良区の現状と役員の役割
兵庫県農地整備課 基盤整備班 兵庫みどり公社 農地活性化部	農地中間管理機構関連農地整備 事業の進め方について
兵庫県農村環境室 ため池水利班 兵庫県土地改良 事業団体連合会	ため池の適正管理について



豊岡 会場	R 2. 11. 27(金) 83名
日高農村環境改善センター	



神戸 会場	R 2. 11. 30(月) 59名
兵庫県土地改良会館	



三木 会場	R 2. 12. 2(水) 90名
三木市立教育センター	



洲本 会場	R 2. 12. 4(金) 31名
淡路建設会館	



姫路 会場	R 2. 12. 7(月) 63名
兵庫県立姫路労働会館	

## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2020

主 催：全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2020 は、「新発見！ぼくのわたしのふるさと自慢！」をテーマに全国各地から 4,883 点の作品応募があり、兵庫県からは水土里ネット兵庫会長賞、入選 2 点（全国 158 点）が選定されました。

### ～兵庫県から入賞・入選に選定された作品～

水土里ネット兵庫会長賞「蓮のお花の蓮根畑」	姫路市立 城乾小学校	3年	坪田 和子
入選「じゃがいもほり」	姫路市立 城乾小学校	6年	東郷 宏都
入選「なすび」	加古川市立 平岡東小学校	6年	迫 歩美
佳作「ちきゅうのたから」	洲本市立 加茂小学校	1年	片山 陽翔
佳作「じいじの田んぼ」	姫路市立 城乾小学校	2年	瀧北 悠人
佳作「なつやさいばたけ」	南あわじ市立 賀集小学校	1年	土井 莉愛
佳作「好きな風景」	南あわじ市立 賀集小学校	4年	堀 柚子葉
佳作「用水路と田んぼ」	南あわじ市立 賀集小学校	6年	西山 青磨



水土里ネット兵庫会長賞「蓮のお花の蓮根畑」



入選「じゃがいもほり」



入選「なすび」



佳作「ちきゅうのたから」



佳作「じいじの田んぼ」



佳作「なつやさいばたけ」



佳作「好きな風景」



佳作「用水路と田んぼ」

オ池リンピック 2020 INAMINO TAMEIKE MUSEUM 県内初のため池を巡るロゲイニングを楽しもう  
～コロナに負けるな オ池リンピック 2020～ イケ R2. 11. 29

オ池リンピック 2020（いなみ野ため池ミュージアム運営協議会）の一つとして、土地改良区が管理する布池、天満大池、加古大池等を巡る「ため池巡りロゲイニング（5～30Km）」が開催（参加約400名）され、地域の魅力を再発見しました。



主な会務の状況（R2. 5. 1～12. 28）

月　日	内　容	場　所
7月17日	兵庫県土地改良事業団体連合会 監事会・決算監査	本会
10月14日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
11月17日	兵庫県土地改良事業団体連合会 理事会 監事会・中間監査	本会
11月27, 30日, 12月2, 4, 7日	令和2年度 土地改良区役職員研修会(豊岡, 神戸, 三木, 洲本, 姫路)	神戸市他
11月20日	農業農村整備の集い（予算要望活動）	東京都
11月19日	令和2年度 土地改良換地土部会現地研修会	南あわじ市
11月19日	第13回ひょうご水土里のふるさとフォーラム	神戸市

土地改良区等の組織運営面にも積極的に係わります。なんでもご相談ください。（相談日・毎週月曜日）



みどり  
**「水」「土」「里」**  
の未来を創造し働きます。

「水」…農業用水や地域用水  
「土」…土地や農地  
「里」…農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

**水土里ネット兵庫**      **兵庫県土地改良事業団体連合会**

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-12 兵庫県土地改良会館  
TEL 078-341-0500 FAX 078-341-0507  
<http://www.hdrnet.or.jp/>